



2 km

親子ペア(小学1・2年生)

順位	選手名	所属	記録
1	安藤 一弘・一翔	薄葉小学校	8分00秒
2	疋田 孝路・知希	宇都宮大附属小	8分06秒
3	杉山 隆之・康生	三日月RC	8分37秒
4	原 雅典・碧希		8分42秒
5	高橋 平・祐希		8分46秒

小学3・4年生男子

順位	選手名	所属	記録
1	石井 陽翔	須賀小(埼玉県)	7分29秒
2	安濃 佑真	白河第五小(福島県)	7分48秒
3	長 慎太郎	大山小学校	7分54秒
4	小林 温晃	大田原小学校	7分56秒
5	藤田 那音	石上スカイラーク	8分02秒

小学3・4年生女子

順位	選手名	所属	記録
1	黒須 彩理	白河第二小(福島県)	8分14秒
2	深澤 雫月	市野沢小	8分25秒
3	原 梓恩	薄葉小	8分31秒
4	飯塚 響姫	蛭田小	8分40秒
5	大金 詩歩	黒羽小	8分49秒

3 km

小学5・6年生男子

順位	選手名	所属	記録
1	深澤 颯	那須北連合	10分56秒
2	藤田 アトム	那須北連合	11分02秒
3	鈴木 樹	東北ジュニア	11分38秒
4	塩田 怜央	埼玉小	11分48秒
5	小森 雄太	親園小	11分50秒

小学5・6年生女子

順位	選手名	所属	記録
1	渡辺 凜花	共英小	11分26秒
2	安藤 夏凜	大山小	11分38秒
3	佐藤 あいり	市野沢小	11分53秒
4	松山 彩香	薄葉小	12分07秒
5	大江 愛結	西原小	12分22秒

中学生女子

順位	選手名	所属	記録
1	千葉 彩良	大田原中	10分24秒
2	飯山 香穂	大田原中	10分25秒
3	大島 美夢	大田原中	10分27秒
4	増子 萌絵	大田原中	10分34秒
5	植竹 ひより	大田原中	10分46秒

5 km

中学生男子

順位	選手名	所属	記録
1	青木 翔	大田原中	16分17秒
2	松本 翼	大田原中	16分18秒
3	工藤 巧夢	大田原中	16分20秒
4	伊藤 明輝	湯津上中	16分36秒
5	伊藤 昂	大田原中	16分52秒

高校生男子

順位	選手名	所属	記録
1	須藤 大樹	大田原高	15分48秒
2	宮村 博騰	大田原高	16分08秒
3	齋藤 哲弥	大田原高	16分25秒
4	副島 大輔	大田原高	16分41秒
5	鈴木 仁成	大田原高	17分05秒

高校生女子

順位	選手名	所属	記録
1	大谷津 明花	大田原女子高	19分05秒
2	村上 わかな	大田原女子高	21分23秒
3	川崎 陽香	幸福の科学学園	24分04秒
4	林 奈々華	幸福の科学学園	24分05秒
5	佐藤 芙妃子	幸福の科学学園	25分06秒

一般男子

順位	選手名	所属	記録
1	山家 翔	大田原女子高教諭	16分38秒
2	大辻 竹仁	茨城心走クラブ	17分11秒
3	鈴木 哲郎	北那須RC	17分13秒
4	高久 亮	J Aなすの	17分44秒
5	近藤 了司	高萩RC	18分14秒

一般女子

順位	選手名	所属	記録
1	人見 綾香		19分14秒
2	山家 良子		20分10秒
3	白井 奈津子		20分42秒
4	大谷 弘子		21分16秒
5	戸村 知子	蛭田小学校	21分58秒

60歳以上男子・女子

順位	選手名	所属	記録
1	篠原 要行	高萩走友会	19分40秒
2	小貫 芳夫		19分49秒
3	桧山 和成	つくば陸協	20分04秒
4	稲見 雅巳	TITRC	20分20秒
5	大木 己芳	ワンワンクロバー	20分23秒

10km

高校生男子

順位	選手名	所属	記録
1	山崎 智也	大田原高校	32分18秒
2	黄木 周平	大田原高校	33分20秒
3	森 淳弘	大田原高校	35分19秒
4	渡辺 輝	大田原高校	36分58秒
5	石川 雄基	幸福の科学学園	38分37秒

一般男子

順位	選手名	所属	記録
1	田中 直樹	東北大学	32分02秒
2	小堀 佑真	水上ハウジング	34分20秒
3	河和 健治		34分59秒
4	高久 康明	J Aなすの	35分29秒
5	千葉 俊介	J R東日本	35分38秒

※表示記録は1秒単位。表示上同タイムでも、実測では上記の順位になります。

大田原市立小・中学校学力調査の結果と分析

☎ 学校教育課 ☎ TEL(98)7113

1. 本市の学力向上に関する取組について

本市では、児童生徒の学力向上対策の一環として各種学力調査を実施しています。

以下の表は今年度実施された学力調査の一覧です。4～5月に調査を実施し、その結果を分析することで、児童生徒一人ひとりの学力向上策や、教員の日々の授業改善に生かしています。

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
市学力調査		国・算	国・算				国・社・数・理		国・社・数・理・英
県学力調査				国・算・理	国・算・理			国・社・数・理・英	
全国学力調査						国・算・理			国・数・理

2. 平成 27 年度全国学力・学習状況調査およびとちぎっ子学習状況調査結果について

(1) 全国学力学習状況調査

●期日…平成 27 年 4 月 21 日(火)

●教科…小学 6 年生：国語・算数・理科／中学 3 年生：国語・数学・理科

※小・中学校の理科は平成 24 年度以来、3 年ぶりに実施。

●概況…小学校 6 年生は国語・算数・理科ともに県平均は上回っています。全国と比較しますと、ほぼ全国平均と同程度です。中学校 3 年生は国語・数学・理科とも県平均および全国平均を上回る良好な結果です。

(2) とちぎっ子学習状況調査

●期日…平成 27 年 4 月 21 日(火)

●教科…小学 4・5 年生：国語・算数・理科／中学 2 年生：国語・社会・数学・理科・英語

●概況…小学 4 年生、5 年生ともに国語、算数、理科で県平均を上回っており、良好な結果です。また、中学 2 年生も国語・社会・数学・理科・英語の 5 教科全てで平均を大きく上回っています。

全国学力・学習状況調査平均正答率							とちぎっ子学習状況調査平均正答率								
校種	教科	大田原市			全国		栃木県		学年	4 年			5 年		
		H27	H27	比較	H27	比較	H27	比較		市	県	比較	市	県	比較
小学校	国語 A (知識)	72.4	70.0	2.4	68.9	3.5	小学校	国語	67.7	65.8	1.9	68.4	65.8	2.6	
	国語 B (活用)	63.3	65.4	-2.1	63.1	0.2		算数	75.8	74.3	1.5	71.9	69.7	2.2	
	算数 A (知識)	76.0	75.2	0.8	73.9	2.1		理科	71.8	69.9	1.9	60.5	57.2	3.3	
	算数 B (活用)	44.3	45.0	-0.7	43.0	1.3		中学校	2 年	市比較					
	理科	62.5	60.8	1.7	60.0	2.5			国語	66.9	62.7	4.2			
中学校	国語 A (知識)	77.4	75.8	1.6	75.7	1.7	社会		66.1	60.7	5.4				
	国語 B (活用)	66.3	65.8	0.5	65.2	1.1	数学		73.5	67.3	6.1				
	数学 A (知識)	66.9	64.4	2.5	63.5	3.4	理科	61.3	55.8	5.5					
	数学 B (活用)	43.0	41.6	1.4	40.4	2.6	英語	61.7	59.0	2.7					
	理科	55.9	53.0	2.9	53.1	2.8									

3. 基礎学力向上研究委員会の取組について

上記の学力調査結果を受け、大田原市基礎学力向上研究委員会では、9 月から 12 月にかけて結果を分析し、本市学力向上策の成果と課題、そして今後取り組むべき方策について協議しました。

(1) 成果

- 国語、算数、理科ともに A 問題(知識を問う問題)に成果が顕著に見られる。
- 各教科とも無解答率が低く、粘り強く問題に取り組んでいる。
- 国語の「言語に関する知識・理解・技能」が良好。
- 算数の「量と測定」「数量関係」が良好。
- 理科は全体的に良好であり、知識、活用ともに落ち込みのある観点も見られない。

(2) 課題

- 国語の「書くこと」で、目的に応じて内容を整理しながら書くこと、根拠を明らかにして自分の考えを書くことなどに課題が見られる。
- 算数は知識を活用して課題を解く B 問題に課題が見られる。
- 小学校の理科で、実験データを分析し考察する力が不足している。
- 質問紙で、家庭で学校での出来事について話しをする児童の割合が高くない。
- 質問紙で、人前で自分の考えを発表することを苦手とする児童が多い。
- 質問紙で、将来の夢や希望をもっている生徒の割合が高くない。

(3) 対策

- 学力調査の評価問題を各教科の年間指導計画に位置付け、授業で活用する。
- 身に付けた知識を基に、主体的に課題に取り組み、自分の考えを発表(表現)できるような授業展開を心掛ける。
- ICT 機器を効果的に活用した分かりやすい授業を実施する。
- 読書する時間や新聞、ニュースにふれる時間を増やし、文字を読む習慣を育てるとともに、社会に目を向けて視野を広げる。
- 子どもの発達段階に応じたほめ方を工夫し、ほめて伸ばす指導を心掛ける。
- 家庭でのコミュニケーションの時間を確保するために、ノーマディアデー、ノーゲームデー、家庭読書の日などを推進する。

☆☆留意事項☆☆

学力調査は、対象となる学年や実施教科が限られており、必ずしも学習指導要領全体を網羅したものではないことなどから、調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力のすべてを評価するものではありません。